

参加自由 〔プログラムの内容・順番は変更される可能性があります。〕

卒業論文・修士論文発表会

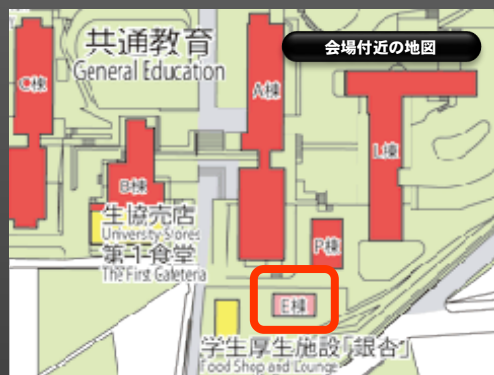
日時 2014年 2月14日 (金)

会場 人文社会科学部E棟101

午前の部 10:00-12:00

小野 みすず	西洋音楽の受容と邦楽への違和感
池田 菜摘	グローバルな思想・ローカルな思想に基づく環境倫理
板垣 恵美子	妖怪を生み出す自然環境と変容させるメディア
伊藤 沙也花	正当化される嘘について
上江洲 加奈子	苦しみはなぜあるのか
岡崎 智紀	ジョン・ロック『統治論』における所有権(プロパティ)
鏡味 瞭太	安楽死—法制化の是非—

* 発表時間は一人15分です。



午後の部 13:00-17:25

加藤 慎也	独裁体制の構造分析と自由民主主義を守る実践行動
栗田 和樹	正戦論における二重効果の原則の批判的検討
白鳥 桃子	嫉妬とどう向き合うか
杉本 雅紀	フーコーの語る真の恋について
津藤 圭志	共に生きる命—人間と動物はどのような関係にあるべきか—
仲野 希実子	道徳上の原則主義の限界と徳倫理学—義務を超える行為をとりまく諸問題—
林 広夢	個性を求める衣装
原 拓史	孤独という状態が我々に示すもの—思想的背景と社会的背景を通じて—
見原 汐音	日本の医療における事前指示の可能性
望月 晴加	貧困救済におけるグローバルな正義—なぜ分配が必要なのか—
山下 千夏子	中世と近代の日本文学に見る死の考え方—『平家物語』と志賀直哉から—
横田 幸也	善き生とアクラシア
渡邊 直史	脳と心—人間らしさを形作る感情と道徳観—
川里 卓	ベルクソンの創造と目的論
大山 優	自分自身で思考するために「私」を捉えなおすこと
加茂 歩	武士道の変遷と現代的意義